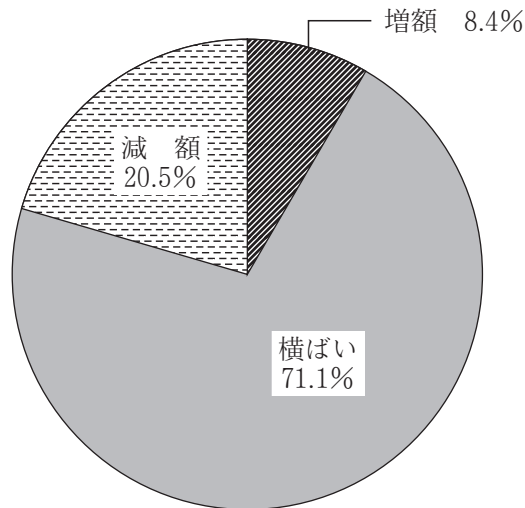


2010.6
No. 143

調査レポート

平成22年夏季 県内民間ボーナス支給見通し — 減額先半減するも慎重姿勢崩さず —

夏季民間ボーナス支給見通し（全産業）



「第68回県内企業経営動向調査」から

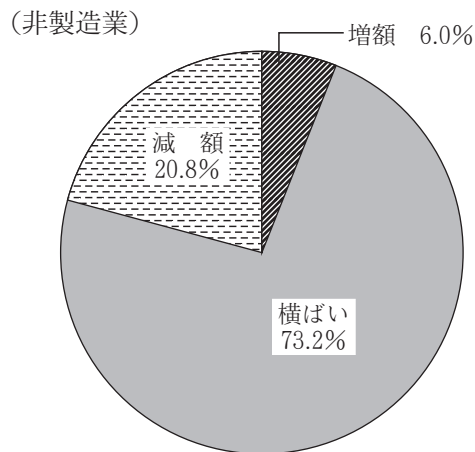
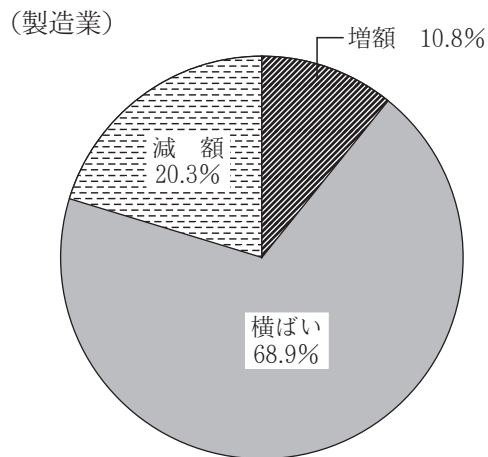
当行の第 68 回県内企業経営動向調査（4 月上旬実施、回答企業 314 社）によると、今夏のボーナス支給予定額は、昨夏の支給額に対して「増額」回答先割合が 8.4%（昨夏調査 1.7%）、「横ばい」回答先割合が 71.1%（同 53.6%）、「減額」回答先割合が 20.5%（同 44.7%）となった。

この結果、夏季のボーナス D I（「増額」回答先割合－「減額」回答先割合）は、昨夏（△43.0）と比べて 30.9 ポイント上昇の△12.1 となり、昨夏からは大幅に上昇したが、引き続きマイナスとなった。減額先が減少する一方、横ばい先が 7 割を超え、「下げ止まり」が窺われるが、経営者は依然慎重姿勢を崩していない。

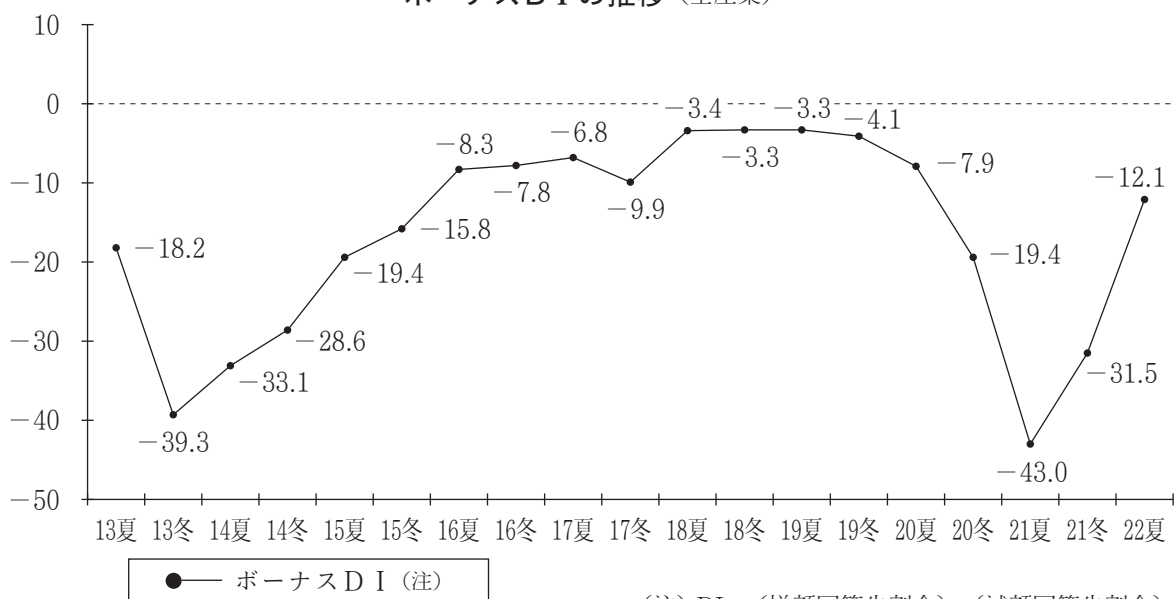
こうした調査結果は、ボーナス支給に影響を与える経営者の景況感や企業業績、雇用環境が、上向きつつも改善半ばであることが要因として想定される。

県内経営者の景況感や企業収益は、足元では上向いている。今回実施した企業経営動向調査

夏季民間ボーナス支給見通し



ボーナス D I の推移 (全産業)



(注) DI = (増額回答先割合) - (減額回答先割合)

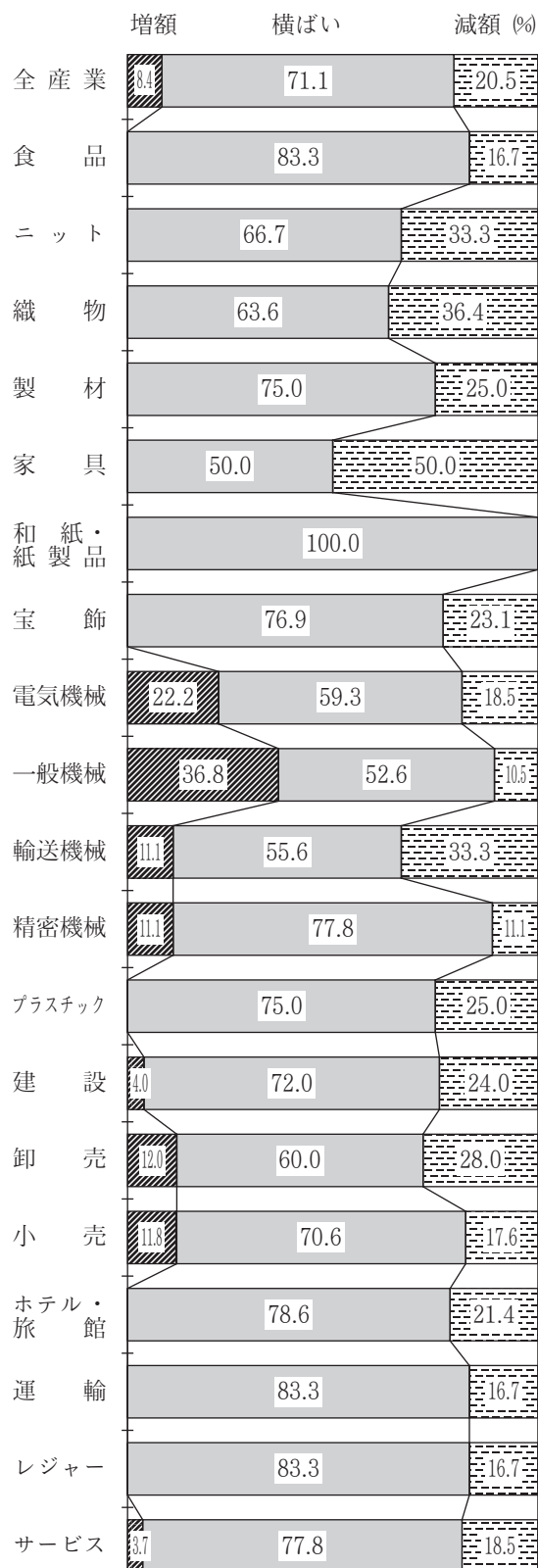
で、21年度下期の業況D I（「良い」回答先割合－「悪い」回答先割合）は大幅に改善した。しかし、22年度上期の見通しについては、業種間のばらつきが大きい。また、企業収益も、21年度下期は「増益」に転じたが、22年度上期は再び「減益」を見込んでいる。

一方、雇用情勢も、基本的には改善傾向にある。企業経営動向調査では、経営上の問題点で「労働力過剰」を挙げる先は減少し、充足度も非製造業で不足に転じている。しかし、先行きの不透明感から人員増については手探りの状況にあり、有効求人倍率も依然1倍を下回るなど、雇用情勢が本格的に回復したとはいえない。

支給見通しを業種別にみると、製造業は、「増額」回答先割合が10.8%（昨夏0.7%）と増加した一方、「減額」回答先割合は20.3%（同53.5%）と半減し、ボーナスD Iは△9.5（同△52.8）と大幅に上昇した。このうち、機械関連では一般機械で増額先が4割弱に達したほか、電気機械も増額先が若干減額先を上回るなど、ともに「増額」に転じ、輸送機械、精密機械でも減額傾向は緩和した。一方、地場産業では増額先はみられず、宝飾や和紙・紙製品で減額傾向が緩和したが、ニット、家具、織物などでは対照的に強まっている。

非製造業は、「増額」回答先割合が6.0%（昨夏2.7%）、「減額」回答先割合が20.8%（同35.6%）、ボーナスD Iが△14.8（同△32.9）となり、減額傾向は緩和している。ただし、ホテル・旅館、運輸、レジャー、サービスでは横ばい先が8割前後に達し、ホテル・旅館を除いて減額先も減少しているが、各業種とも「減額」が続く見通しにある。

夏季民間ボーナスの業種別支給見通し



山梨中銀

夏期ローン

〈お取扱期間〉
平成22年6月1日(火)～平成22年8月6日(金)

中小企業・個人事業主のみなさまの事業発展にお役立ていただく
ためのご融資です。

賞与資金など、夏期資金としてお気軽にご利用ください。

お申込み いただける方	中小企業および個人事業主の方で、1年以上同一事業 を営まれており、今後も継続して事業を営まれる方
お使いみち	事業に必要な運転資金
ご融資金額	1,500万円以内（無担保の場合は、1,000万円以内）
ご融資期限	平成22年10月29日（金）
ご返済方法	分割返済または期日一括返済

※審査の結果によってはご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
詳しい内容や金利については担当者または窓口までご相談ください。

平成22年6月1日現在

発行 山梨中央銀行
編集 山梨中銀経営コンサルティング

〒400-0031 甲府市丸の内一丁目20番8号
☎ (055) 224 - 1032
山梨中央銀行 URL：
<http://www.yamanashibank.co.jp/>